

ゆうちょ お金のちしき

楽しく学んで、身につけよう！

小学校
5・6年生用
教材



ゆうたくん

元気でこうしんいっぱい

ちよちゃん

しっかりものでやさしい



おさいふぼーや



ワンダーせんせい

お金のことならおまかせ



カードくん



ゆうちょ銀行

※本書の無断転載・複写を禁じます。

1

お金の歴史と役割



お金ってどんなことができるかな？



いろいろな物を買えるわ。
使わないお金は、必要になるときまで貯めておけるし。



物と物を交かんしていた大昔は、おたがいの欲しい物でないと交かんできなかったからね。肉や魚だとすぐに交かんしないとくさってしまうよ。お金って便利だね。



お金で交かんできるのは物だけではないよ。だれかに何かをしてもらうこと、例えばじゅくで勉強を教してもらうとか、美容院でかみを切ってもらうなどのサービスとも交かんできるんだ。



同じ物でも値段がちがうのはなぜかな？
かんジュースは100円くらいだけど、レストランでたのんだジュースはその何倍も高かったよ。



レストランでは良い材料で作られていたり、素敵なふんいきも楽しめたりするからじゃない？



値段は物やサービスの価値も表しているんだね。レストランでたのむ食事やジュースは、お店の人が作ってくれて運んでくれるサービスの値段もふくまれているんだ。物とサービスという種類のちがうものでも、お金という共通の物差しがあるから価値を比べることができるんだ。お金があって値段がついているから、買い物ができるというわけ。

1

お金の歴史と役割



お金ができる前は、どんな物が使われていたんだろう？

江戸時代の武士はお金とともに、米(穀物)でも給料をもらったり税金※を納めていたと聞いたことがあるわ。



古代ローマでは塩がお金の代わりだったという話もあるよ。一生けんめいに働いて手に入れて、大事に使っていたんだって。今のお金の感覚と一しょだね。塩、米(穀物)、金属・紙というちがいがああるにせよ、いつの時代も限られたお金を大切に使うという思いはきっと変わらないよ。



そういえば、この間、コンビニのレジでお金を出さずにカードをかざすだけの人がいたよ。



それは電子マネーだね。カードの中やインターネット上にあるお金の情報が、使ったときに書きかえられるんだ。お札やコインではないけれど、これもお金だから使い方をよく考えようね。また、パソコンやスマートフォンを使って、インターネットで買い物(ネット決済)ができるようになったけれど、これも使い方に注意しようね。



まとめ

お金には3つの働きがある。

- ① 物やサービスと交かんできる。
- ② 貯めておける(預金・貯金)。
- ③ 物やサービスの価値を表す。

最近では、お札やコインを使う以外に、電子マネーやインターネットでもお金をやり取りするようになっている。

※国民1人ひとりが働いて得たお金の一部などを、国や地方自治体に納(おさ)めるもの。警察(けいさつ)・消防(しょうぼう)、道路・水道の整備(せいび)、年金・医(い)りょう・福(ふ)し・教育などに使われます。

2

おこづかいの管理について考えよう!



おこづかいがあると好きな物が買えていいよね。



お金には限りがあるから、好きな物にいくらでも使えるわけじゃないわ。

お家の人から使い方を^{まか}せられているんだから、その管理も自分でやらなきゃね。



むだ使いしないで貯めておきなさいってことかな?



貯めておくだけではお金は何の役にも立たないよ。どういう物にいつ使うか、またそれがいくらかかるかをあらかじめ考えられるようになるろう。生活や勉強などに欠かせない「必要な物」は、「欲しい物」より優先^{ゆう せん}して買わなければならないよね。「欲しい物」も、計画的に貯金すれば手に入れることができるよ。そして自分のためだけではなく、プレゼントや寄付^{き ぷ}※など人のためにお金を使うこともできるね。

自分のため

ふだん使うお金

貯めておいて後で使うお金



必要な物

文ぼう具など

欲(ほ)しい物

おもちゃ、
マンガなど

銀行

人のため



プレゼント、寄付^{き ぷ}※など



貯めておくのは銀行に預^{あず}けるという方法もあるわね。

※困(こま)っている人のためにいろいろな人から少しずつ集められるお金。対象は地しんや水害にあった人、住むところや食べる物や薬などがない人たちなど。

2

おこづかいの管理について考えよう!



買わなければいけない「必要な物」がいつもよりも多いなあ。
「欲しい物」をがまんしてもお金が足りない場合はどうしたらいいの?



みんなも考えてみよう!

お金が足りないと思ったとき、どうしたらいいかな?



私は本を買うために貯めているお金から少し使うかな。
その分、本を買うのはおくれるけれど「必要な物」が
ないと困るからね。

貯めて
おいて
よかった!



ときにはお金が急に必要になることがあるよね。
お金を貯めておくと、そういったときに困らなくて済むよ。
貯金には「いざというときに備える」という役割もあるんだ。

まとめ

お金は「必要な物」を優先し、「欲しい物」や「人のため」にも
使えるように、あらかじめ使い方を考えて計画的に貯めて
おこう。貯金をしておけば、いざというときに備えることも
できる。

3

お金を使うことに ルールはあるの？



ちよちゃんは文ぼう具や本も自分で買っているから、ぼくより絶対おこづかいが多いよね。
ぼくも同じくらいにおこづかいを値上げしてもらおうかな？

おこづかい

=

必要な物

+

ほしい物

管理



責任



私は自分で買う分、お家の人を買ってもらうことは少ないのよ。
よく考えてしっかり管理しないと、「必要な物」も買えなくなることもあるわ。
ゆうたくんはおこづかい以外にもいろいろな物を買ってもらっているみたいだから、
さらにおこづかいを値上げしてもらおう必要はないと思うなあ。
お金はお家の人働いて手に入れた限りあるものなのよ。



そうなんだ。お金をたくさんもらうって責任のあることなんだね。



おこづかいをどれくらいにするか、
子ども自身に使い方を任せるかなどは、お家の方の考え方や
ルールによるね。
ただし、ひとつ知っておくべきなのは、おこづかいが多いことは
それだけ自分の責任が大きくなるということなんだ。
大人になると、いろいろなことでお金の使い方を判断しなくては
いけないので、今から少しずつ練習をしていこうね。



何を大切にしているかによって、人それぞれにお金の使い道はちがってくると思う。
大事なのは、自分なりのお金の使い方をすること。
お家の人に任せられたお金だから、他の人の使い方まどわされないようにするわ。

3

お金を使うことに ルールはあるの？



友達といっしょにいるとき、お金の使い方
でどうしようかと迷うことがあるよ。



おこづかいはお家の人が^{まか}せてくれたお金だから、
何にでも好きに使っていいわけではないよ。
^{まよ}迷ったときにどうすればよいかを、みんなでいっしょに考えてみよう。

考えてみよう！ こういうときはどうする？

Q1:

「買ってあげるからいっしょに
おかしを食べよう」と友達が
言うんだけど、どうしよう？



Q2:

友達と買い物に行ったとき、欲しい物を
買うのにお金が少し足りなかった。
後でちゃんと返すつもりだから、
友達から借りてもいいかな？



Q3:

「お金を持ってこないで遊ばない」と
言われて困っているんだけど、
どうすればいい？



まとめ

おこづかいの額やその使い道を自分で決めるかについては、
お家の人と話し合おう。そしておこづかいが多くなると、
それだけ自分の責任が大きくなることを理解しよう。
また子ども同士でお金のやり取りはしないようにしよう。
困ったことがあったら、お家の人など大人に相談すること。

4

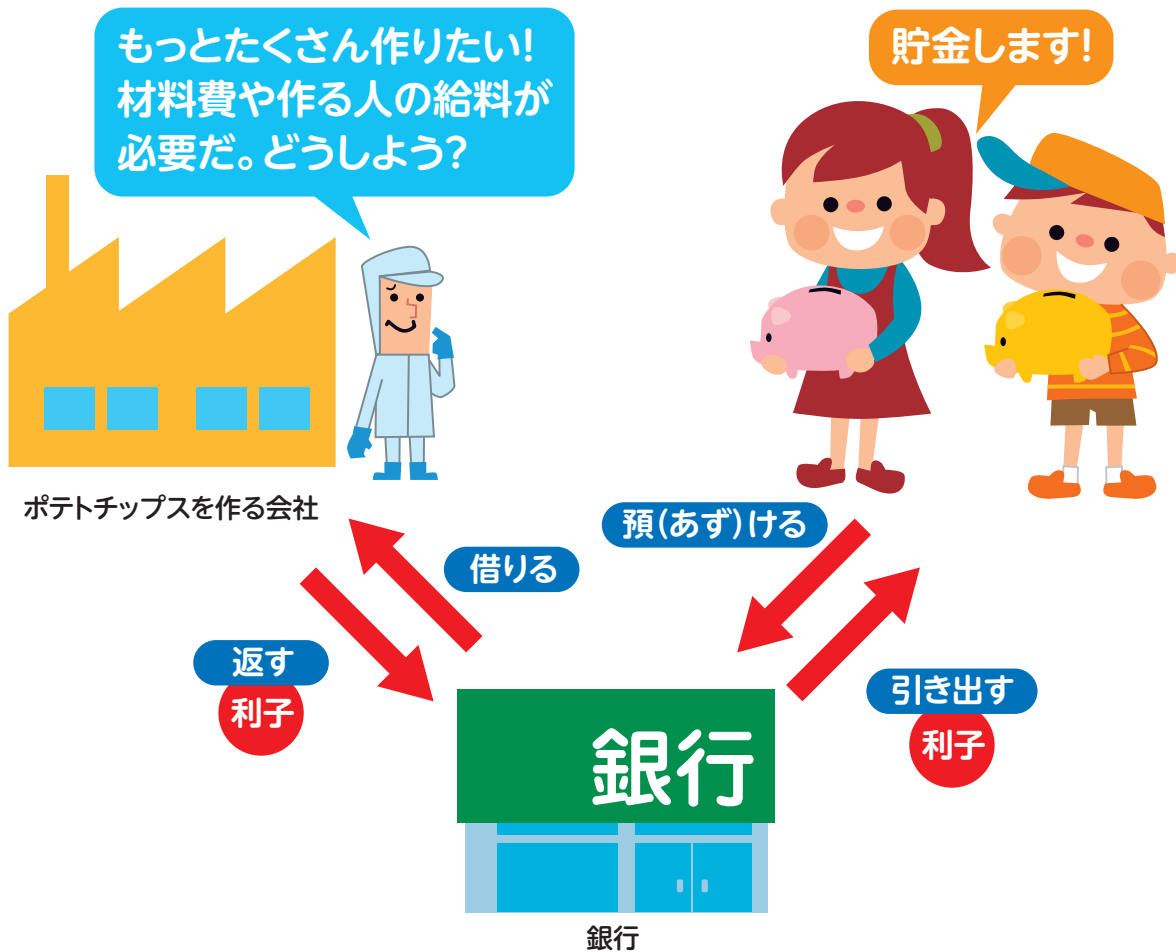
銀行に預けたお金は どうなっているの？



お金が必要とき、大人は銀行に引き出しに行くことがあるよね。
どうして手元に置かずに、銀行に預けているんだろう？



銀行に預けたお金がどうなっているかを調べてみようよ。



銀行はお金を預かって金庫に保管しているだけじゃないだね。



お金を借りた人が利子を付けて返すから、預けている人のお金が増えるのね。
しばらく使わないお金は、銀行に預けた方がいいね。



銀行は集めたお金を必要な人へ貸すことで、
社会に役立っているんだ。銀行に預けておくと落としたり
ぬすまれることもないし、
手元にないからつい貯金を使ってしまうことも少なくなるよ。

4



銀行はどこにお金を貸すのかな?

あなたは銀行の人。銀行は預^{あず}かったお金を、必要な会社などに貸^かしている。さて、いろいろな会社が商品やサービスをつくり出すために、お金を借りたいって言ってきているよ。あなただったらどんな会社^かに貸すかな?
以下の会社から選んで、その理由を枠の中に記入しよう。



大きくて有名な会社



めずらしい物を作る会社



昔から続いている会社



長く使われる物を作る会社



わたし 私たちの町にある会社



かんきょうを考えている会社



食べ物を作る会社



社員の生活を大事にする会社



服を作る会社



世界中の人々のことを考えている会社



家を建てる会社



その他、よいと思う会社はどんな会社?



医りょうやかいごを行う会社

[]

その会社にお金を貸^かす理由は?

書き終わったら発表してみよう。

貸^かしてもよいと思える相手、それが信用される会社だよ。



まとめ

銀行はお金を安全に預^{あず}かるだけではなく、お金が必要な会社などに貸^かして利子を得ている。そして、預^{あず}けてくれた人のお金には利子を付けて増やしている。こうして銀行は世の中にお金を回す働きをして、社会に役立っている。

5

社会のつながりと 物の値段の成り立ち



この間ポテトチップスを買に行ったら、種類がいろいろあるし、値段も高いものや安いものがあった。迷っちゃった。とてもおいしいけれど高いポテトチップスと、まあまあおいしくて安いポテトチップスならどちらを買う？



ぼくは安い方かな。いっぱい買えるもん。



わたしは高くてもおいしい方がいいわ。



税こみや
税別って
何かしら？

おいしいのが
いいわ！



安いのが
いいよ！



選ぶ基準となるのは、値段や味だけではないよ。他とちがう特長があるとか、かんきょうに優しい商品であるなどもそうだね。商品の代金はその商品を作った会社にわたり、再び材料を買うためのお金として使われたり、その会社で働く人の給料になるよ。商品を買うということは、その商品を作る会社をおうえんしていることになるんだ。



商品に税こみとか税別と書いてあったけれど、「税」って何？



税金は、道路や学校などみんなで使うしせつを作るために使われたり、きんきゅうのときに来てくれる警察官や消防士などの給料になったりしているよ。そういった社会を支えるために必要なお金をみんなで出し合っているんだ。おかしや文ぼう具を買うときに消費税がかかるから、子どもも税金をはらっているよ。

5



社会のつながりと物の値段の成り立ち



ところで値段^{ねだん}ってどうやって決まるんだろう？ 材料にかかるお金を足したものかな？



それでは、ポテトチップスを例に見てみよう。

下の絵は、ポテトチップスを作るために働いている人たちです。以下のことについてグループで話し合おう。

(1) それぞれの仕事の楽しそうなところは？ 大変そうなところは？

(2) それぞれの仕事はどのように役立って、「ありがとう」と言われているかな？



じゃがいもを育てる人



デザインを考える人



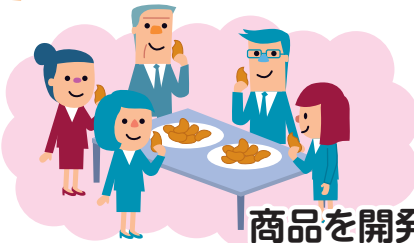
商品を作る人



商品を運ぶ人



商品を売る人



商品を開発する人



1つの商品を作り出すために、いろいろな人や物が関わっているね。値段^{ねだん}には材料だけでなく、それらの人たちが働いた分の価値^{かち}、工場などの設備費^{せうびひ}、電気・水道・ガス代などもふくまれているよ。

まとめ

- (1) みんなが代金^{ぜいきん}といっしょに払った税金^{ぜい}は、社会を支えるいろいろなことに使われている。
- (2) 物の値段^{ねだん}には材料費だけでなく、それに関わる多くの人の労働やサービスの価値^{かち}もふくまれている。
- (3) 寄付^{きふ}など人のために使うお金だけでなく、買い物で使うお金も社会の中で役立っている。どのような物やサービスを選んで買うかを、自分で考えられるようになろう。